SVBのデジタルバンクランの教訓

小 立 敬

(証券アナリストジャーナル編集委員会委員)

1. デジタルバンクランの発生と波及

米国でスタートアップ向け取引を手掛けていたシリコンバレー・バンク (SVB) は、預金保険 (上限25万ドル) の範囲を超える非保険対象預金に依存していたため、大規模な預金流出に見舞われて2023年3月10日に破綻した (図表1)。その影響から非保険対象預金への依存度の高い銀行で預金流出が発生し、暗号資産関連企業との取引を行っていたシグネチャー・バンクも直ちに破綻した。

米国当局は両行破綻に伴う銀行システムの不安

定化への対応として連邦預金保険法の例外措置 (Systemic Risk Exception) を適用し、連邦預金保険公社 (FDIC) が両行の破綻処理に際して全預金を保護することとした (注1)。また、連邦準備制度理事会 (FRB) は担保の額面価額で資金供給する緊急的な貸付制度 (Bank Term Funding Program) を導入した。

異例の政策対応は行われたものの、特にSVBと同規模のスーパーリージョナル・バンクを中心に預金流出が続いた (注2)。その結果、ファースト・

図表1 SVB破綻に関するタイムライン (2023年)

3月 8日 (水)	SVBが22.5億ドルの増資計画と、210億ドルの有価証券売却に伴う18億ドルの損失を公表
9日 (木)	SVBにおいて420億ドルの預金流出の発生
10日 (金)	カリフォルニア州当局がSVBを閉鎖し、FDICが同行を管理 (レシーバシップ)
12日 (日)	財務長官、FRB、FDICがSVBとシグネチャー・バンクの破綻処理に際して全預金保護を表明 FRBが緊急貸付制度 (BTFP) の設置を表明
15日 (水)	クレディ・スイスの筆頭株主 (サウジ・ナショナル・バンク) が追加出資を否定するコメント FINMAがG-SIBsとしてクレディ・スイスに十分な自己資本、流動性があることを確認
16日 (木)	ファースト・リパブリック・バンクに米銀11行が300億ドルの預金を提供することを表明
19日 (日)	FINMAがUBSによるクレディ・スイスの救済合併を承認し、合併に際してクレディ・スイスが発行するAT1債の完全な元本削減を行うことを表明
22日 (水)	FOMCが政策金利の0.25%の引き上げを決定
26日 (日)	FDICがSVBの全預金をファースト・シチズンズ・バンクに承継することを公表
5月 1日 (月)	FDICがファースト・リパブリック・バンクの閉鎖と全預金をJPモルガン・チェースに承継することを公表

(出所) 筆者作成

(注1) なお、株主と預金者以外の債権者は損失を被ることから、いわゆるペイルアウトではない。

(注2) Luck *et al.* [2023]。